

滋賀県医師連盟ニュース 第7号

平成 22 年 11 月 20 日発行

発行所／滋賀県医師連盟
栗東市 糺 1-10-7
TEL/FAX077-553-6577

☆医師連盟役員と会員の 意見交換会を実施しました

平成 22 年 11 月 4 日（木）に、栗東芸術文化会館「さくら」会議室において、滋賀県医師連盟役員と会員の意見交換会を開催いたしました。医師連盟としては、このような取り組みは初めての事であり、当日は 30 余名の参加をいただき、活発な意見交換がなされました。

意見交換会開催にあたっての提言

滋賀県医師連盟 委員長 笠原吉孝

滋賀県医師連盟の加入率は過去の歴史から見て、現在県医師会 A 会員比 36% と低下していると同時に、全国、近畿内で見ても格段に低い状態となっている。これを今放置するのか、再構築を図るのかの瀬戸際に来ている。

医師連盟への加入を促すことは、政治離れの会員に対して至難の業ではあること自明である。一方で、国民が安心する医療供給のために、各医療機関が医療を安定して供給出来る医療制度、医療保険制度の持続をさせるには、会員の政治的な活動は不可欠であるという事実も自明である。

【中略】

上医は国を治すという言葉は、政治家が国を動かすのと同様に、医師が最良の医療をあまねく国中に司れば、国は間違いなく栄えるという意味だと解釈した。医師も間違いが、政治家も間違い。官僚が常に正しいわけではない。医療の面からみて、国民が幸せな方向に行っているのかを監視し、正しい方向へ導くのが医師の役目でもある。その際に医師が、医師会が政治的な視点を持たねばならない。この点からも医師連盟への全員加入が望まれる。

【中略】

医療という国民を守る重大な手段を考慮すれば、政党の主張を聞くというよりは、政党と共に勉強をして、医療のあるべき姿を検討の上、財源を中心として医療制度の安定をはからねばならないと考えるのが順当ではないか。個々の医師会員としては様々な考えと異種政党を応援する姿勢を持っていると考える。だとすれば、今後医師連盟は様々な医師会員の意思表示を受け入れるべきではないか。

そのための一つの提案として、私案ではあるが、連盟会費の一部を各々の会員の応援する政党、或いは個人へ献金する仕組みを作る。このことにより、個々の医師の政治的活動意識を喚起・満足させ、医師連盟への加入意識も高まるのではと期待する。この点について特に未加入会員のご意見を伺いたい。 【中略】

現状では、医師連盟の活動としては、主に予算の計上や決算の審議があり、その他は選挙時の推薦の決定や自民党・民主党などの大会への参加等が主務になっている。国会議員との勉強会や彼等への医師会の意向の説明・説得等の機会は、医師連盟としてはまだ緒に就いたばかりの状態である。更に会員は医政について様々な視点での勉強が必要であるが、これはまだ連盟で手を付けていない。更には様々な勉強をしながら、真の国民医療を担う姿勢・政策は何か、それを医師会員として納得し、実行する決断はあるのか等の討議を、我々自身医師会員として行ってきていないと考える。今後の活動のあり方を全会員に伺いたい。

医師連盟組織率 (A 会員)

福井	93%
和歌山	91%
石川	89%
兵庫	76%
大阪	65%
奈良	55%

☆意見交換会で出された主なご意見

議題（&それに対するご意見）

- 第 2 2 回参議院議員通常選挙の総括
 - 会員本人、家族、従業員、身近なところで票を固めなければならない。
 - 3 人も推薦・支援したことが間違い。一人に絞るべきであった。
 - 組織内候補の時代から、超党派の医系議員を支援して政策に反映させていく時代へ。
- 今後の滋賀県医師連盟活動について
 - 医師連盟の在り方は（会員の享受する）メリット、デメリット論では語るべきではない。
 - 現場レベルから、もっと大きな動きを起こせという声が聞こえる。
 - 特定の政党の資金団体という性質から、ロビー活動を重視する性質に切り替えよ。
 - 党派関係なく医師の資格を持った国会議員を医師連盟が支援すべき。
 - 守山野洲医師会では、政治家との勉強会を定期的実施している。
 - 特定の政党を支援するのではなく、我々が抱えている医療問題を様々な議員に理解していただくというスタンスで実施している。
 - 診療報酬点数の改善などは、こちらから働きかけて政治家を動かさないと実現できない。各地域でそういうムーブメントを作り出していかなければならない。
 - 医師連盟の事務局機能を強化して、政治家との勉強会開催等の手助けをしてほしい。
 - 我々の意思を固めるためにも、もっと積極的に勉強会などを実施していく必要がある。
 - 医師連盟＝選挙ではない。「国民の医療を守るため」には、「それを担う医師の身分を保証する」という大義名分を掲げて臨まなければならない。
- 会員確保の方策について
 - 連盟が何をしているのかがわからない。広報活動が弱い。選挙の時だけ動いてはダメ。
 - 連盟と聞くだけでアレルギーを示す医師がいる。このままでは、そのうち医師という職業で食べていけなくなるようになるということを判ってもらい必要がある。
 - 頑張って広報活動を続けていけばそのうち連盟アレルギーも弱まってくるはず。
 - 委員長含む役員が郡市医師会長と協力して、例会でアピールするなどの行動が必要。
 - 国レベルから見ると小さな郡市医師会である守山野洲医師会が、地元の国会議員に働きかけて実質的にレセプトオンライン請求義務化にストップをかけた。この大きな功績が多く、の県医師会会員の先生方に知られていない。力を合わせれば道は開ける。
- 医師連盟の委員長は県医師会の会長の兼務で良いか？
 - 医師連盟は医師会の理念を通していくための組織なので同一人物が行うのが望ましい。
 - 公益法人問題との兼ね合いもあるが、当面は現状のままで良い。
- 医師連盟事務局の強化
 - 選挙以外の時でも先生方の定期的広報活動などのお手伝いができる体制が必要。
- その他
 - 医師を取り巻く環境の変化で、若い先生方はこれからどんどん大変になっていく。
 - なのにその若い先生方の危機感が低すぎるのでは。（だから連盟に興味を示さない）
 - 連盟は医師個人のメリット、デメリットを超越した「国の政治に物申す」というスタンスを。
 - カナダの医師会は政治的に完全に中立のスタンスを取っている。
 - それは力があるため。日本でも連盟の力をつけて、そのスタンスを目指すべき。
 - 医師の団結が最重要。団結して力を示さなければ医師の身分はどんどん低下する一方。

☆医師連盟アンケートについて

今回、意見交換会を開催するに先立って、アンケートを実施いたしました。アンケートの配布枚数は350でそのうち回答数は91でした。(回答率26%) ご回答いただいた会員各位には厚く御礼申し上げます。以下に主な質問に対する会員の皆様のご意見をご報告させていただきます。

Q：今回の参院選において、日医連推薦・支援の3候補に対して投票されましたか？

投票した	投票していない	選挙そのものを棄権
55	32	2

→「投票していない」「選挙を棄権した」理由

- 3候補の違いがわからなかった、本当に自分の意見が反映されるか疑問を感じた。
- 3候補に優劣がないので迷うため、敢えてどの候補にも投票せず。
- すべての党への支持は判りづらい。

Q：今回の参院選において、日医連推薦支援の3候補に対する滋賀県の投票率は全国平均以下でした。この件に関してどう思われますか？

医師会を含めて組織力低下という問題は将来の医療政策に反映されてくる懸念がある	69
たかが参院選、特に問題はないと思う	3
その他	18

- 党派に関係なく、口だけではなく、医療に対して真剣に活動してくれる人を推すべき。
- 実地的な社会奉仕活動を強化して国民の信頼を得ることを目指すべき。
- 政権党の下請機関ではなかったか、会員の意思を反映した組織であったかの再検討を。
- 入れても無駄と思っている。医師連盟がしっかりしていればこんなことになっていない。

Q：今後医師連盟はどのような方向を目指していくべきであるとお考えですか？

現場の声を国政に届けて国民や医療従事者にとって安全安心な医療政策の実現をさらに目指すべき	71
圧力団体というものはすでに時代遅れ、今後活動は縮小していくべきである	3
その他	18

- 現場の声を国政に届ける必要はあるが、特定の政党を支持すべきではない。
- 患者の立場を国政に。
- 2年毎の改正の都度、A会員の権利が削られている。生活が成り立たないようになると開業することが困難になる。地方では開業したいができない。その結果が医療崩壊である。
- 表向きは圧力団体ではないが、その本質は圧力団体としての機能を持つべきであり、そのためには医師連盟への加入は医師会費と連動して会費徴収をする必要がある。
- 日医→身分団体として学術・倫理・身分の管理などに特化
医師連盟→職能団体として医療政策などの国政や生活保障などを求める団体に進化
- 医療政策勉強会、意見交換の場を提供する。

Q：滋賀県医師連盟の加入率は全国平均を大きく下回り、現在最低ランクとなっています。この理由をどのようにお考えですか？

医師の政治離れ	40
会費の割には直接的なメリットが感じられない	37
医師連盟のPR不足で存在を知らない、または知っていても活動目的を正しく理解していない	32
その他	11

- 各都道府県の医師会長をはじめ各市町の医師会長が率先して、加入するように例会を通じて働きかけたり、未加入者に対して個別に勧誘する努力を、この選挙の反省を兼ねて是非やってほしい。

- 医師会、医師連盟等の医師団体に対する営利団体というイメージをかえていかないといけない。
- 日常診療が忙しく、政治的活動に興味を広げられない。
- 若者の他人任せ、ことなかれ主義、無関心

Q：医師連盟の組織力強化のため、未入会員に入会してもらう方法として何かご意見をお聞かせ下さい。

- 医師の結束力・政治力がないと、医師の要求はほとんど通らず、ますます医療費・診療点数などが削られることを医師にアピールすべき。
- 組織力低下がどのような事態を招くかを説明すべき。
- 医師連盟の存在意義・役割・使命等を各医師会会員に丁寧に説明する。
- 連盟の活動は勉強会や意見交換の場を提供することを主体とし、特定政党への献金は廃止する。
- 医師会開催の研修会で5~10分程度の時間をとって医師連盟についての説明や必要性をPRし入会を勧める。

Q：既存会員の結束力強化のための妙案などありましたらお聞かせ下さい。

- 活動をしているのかどうか会員からは見えない。会報等で活動していることをアピールする。活動をあまりしていないのならば会報を作ることが出来るくらいの活動をすべき。
- 組織の直面している課題についてFAXやメールで共有する。
- 会議に参加せずともアンケート方式で会員の意見を述べる場を作って欲しい。アンケート結果の開示をしてほしい。
- 各医師会長が陣頭に立つことが大切。
- 政治はすべての国民にとって大切なこと。医師はオピニオンリーダーたれ。但し団結を。
- 顔を洗って出直して欲しい。医師として私の中にはして欲しいことが山ほどあるがまず無理だろう。
- 滋賀県選出の国会議員や知事、県議、市議などを招いて勉強会をする。
- 1ヶ所開催では遠方の会員は出席困難のため、湖南、湖北、湖西に地区を分けて、それぞれで集会を開催し、その代表が意見を交換する。

☆医師連盟への継続加入ならびに入会のお願

国民すべてに安全で良質な医療を提供すること、医療提供側の安定を図ることを第一の目的に、政治的な活動を展開して医師会活動を側面から支援していくのが医師連盟です。医療を取り巻く環境がますます厳しさを増していくなかで、政治活動の重要性をご認識いただき、すでに医師連盟に加入されている先生方には継続加入を、まだ未加入の先生方にはこれを機に、ご入会くださいますようお願いいたします。